

# スクールカラー青

愛知淑徳学園理事長・学園長

小林素文

今年には愛知淑徳学園創立百二十周年、大学開学五十周年。記念事業の「長

久手キャンパス新一号棟の建設と陶板画制作」は昨年完成しましたので、本年は周年行事がとり行われる年です。

4月に物故者追悼会を行い、学園の歴史に関わられた物故者に感謝をし、心安らかにお見守りいただきますことをお祈りいたします。

6月にZinco日本特殊陶業市民会館フォレストホールにおいて、愛知淑徳中学校・高等学校の全校生徒が集い、名古屋フィルハーモニー、卒業生の八神純子、中高の音楽クラブのコーポレーションで百二十周年を祝います。

11月には、例年行われる愛知淑徳大学大学祭を大学開学五十周年スペシャルとし、学生達に祝ってもらいます。

生徒や学生と共に祝う創立一二〇周年・開学五〇周年ですから、記念するロゴも学内で公募し、選考決定を行いました(大学開学五十周年のロゴ

については本誌13頁)。

高校二年 田部井 希実さんの百二十周年のロゴ(A)には次のような工夫がされています。

- ・扇型の水色は夏の制服の色
- ・120の文字色は冬の制服の鉄紺色
- ・扇型は一二〇周年に基づき一二〇度



水色や鉄紺色など青をうまく使ったロゴですが、百周年のときも当時高校三年生の佐藤綾乃さんがデザインしたロゴ(B)も次の制作意図にあるように

青を使い分けていました。

「水色が中学時代、青が高校時代、紺が大学時代で人の横顔で次々と受け継がれていく伝統と歴史をイメージしました。」



\*

青は愛知淑徳のスクールカラー、無限に広がる空の色。百二十周年という記念すべき年、心新たに、大学歌「青春無限」の一節にあるように「天の深みへ夢かかぎて」歩んでいく生徒・学生達の洋々たる未来を祝福したいと存じます。

\*

青の無限に広がるイメージは、次の三好達治の詩にあるように、未来だけでなく過去に向けてもあります。

かへる日もなきいにしへを  
こはつゆ艸(クサ)の花の色  
はるかなるものみな青し  
海の青はた空の青

この詩を読むと、長久手キャンパス正面広場の碑に刻まれた小林素三郎初代愛知淑徳大学学長の次の歌を思い出します。

歳ごとに幾山川を超えて来ぬ  
その歳月はとけて今なし

それぞれの時代にそれぞれの立場で精いっぱい愛知淑徳とかわり120年のいしづえを築いて下さいました皆さまに心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。